



南犬飼中だより

建学の精神「向い原魂」

- 物事をまじめに根気よく続けよ
- 自発的実践活動を続けよ

【犬中運動会】

5月20日(土)、「獅子奮迅～全力だから見られるもの～」のスローガンのもと、犬中運動会が開催されました。今年の運動会の大きな特徴は、大きく分けて2つあります。1つ目は、全学年を5つの団体にして順位を競い合う縦割りでの競技にしたこと。2つ目は、全校生徒犬中集団演技で例年行っていた「犬中ソーラン」に代わり、生徒自らが創作したダンスになったことです。出来映えがよく、迫力のある演技で観客を魅了するのいいことですが、試行錯誤を重ね、やっと創り上げた犬中独自の真剣なダンスは、観ている観客の心を打つ感動的なものでした。練習から本番まで、3年生の各団長が大いにリーダーシップを発揮し、本番の演技も生徒一人一人がとてもいい表情で真剣に競技に打ち込む姿が目にと焼き付いています。そんな運動会で、3年生の学級対抗全員リレーでの感動的なシーンを紹介します。

まだ走っている黄色のアンカーを知った各クラスのアンカー達が、自然とゴール前の直線コースに戻り、アンカー5人全員が肩を組んで笑顔でゴールまで走り始めました。そして見事にゴールしました。そして各クラスの担任の先生達もゴールの先で肩を組んで、最後のアンカーがゴールするのを待ち構え、ゴールした子供達と手を取り合いました。放送係から着順がコールされ、退場の際に再度アンカー5人全員が肩を組んで退場していく姿に会場からは、大きな拍手が沸き起こりました。

運動会の目標は、集団で規律を守ること、仲間と協力すること、責任をもって係の役割を果たすことなど、生徒に身につけさせる目標は確かにあります。しかし、目標以上に貴重で大切なものを、今回の運動会で学ぶことができました。



感動のゴールシーン



ゴールを待つ先生方

【優勝した赤団 団長 秋田 稜磨さん】

私は今回の運動会で赤団の団長に立候補しました。最後の運動会を楽しいものにし、今年度から始まった団ごとの戦いを盛り上げたいと思ったからです。しかし、怪我で運動会の演技には出られませんでした。私は怪我をした状態で団長が務まるか不安でしたが、副団長が団長の代わりを務めてくれ、無事に運動会の練習や本番を行うことができました。何もできない私でしたが、友達はいつでも話しかけてくれました。この経験から、みんなで支え合うことの大切さ、友達の優しさを実感することができた運動会になりました。

【優勝した赤団 副団長 清水 柗太郎さん】

今回の運動会は急遽団長の代わりを務めることになりました。私は副団長として不安でいっぱいでした。団には約百人の生徒がいます。全員に説明したり、思いを伝えたりできるのか。それは本当に大変なことでした。しかし、運動会が近づくにつれて、「分かりました!」「頑張ります!」といった言葉が聞こえてきて、嬉しくなりました。私一人の力では到底まとめることができませんでした。三年一組のみんなの協力、そして赤団の団結力があつたからこそ、運動会が大成功しました。本当にありがとう。

優勝赤団



運動会終了後の保護者から
の温かいメッセージ

(第1学年保護者)

お疲れ様でした。とても感動のある運動会でした！運動会となると勝負を意識してしまいがちですが、仲間を助け合う3年生の姿、流石ですね。1年生、2年生と経験をつんでの3年生の団結力を見せつけていただきました！後輩も先輩の姿を受け継ぐとともに、新しいことにチャレンジすることが…自分、皆の成長に繋がると思います。また来年が楽しみです。

(第2学年保護者)

みんながのびのびと！楽しんで準備、演目、係、片付けをしているのを目の当たりにしました。これも犬飼中の生徒主体の教育のおかげなのかと。やらされるのではなく、自発的に！大人になればなるほど必要不可欠な事を中学で学べる環境、素晴らしいなと思いました！これからも何ごとにも楽しんで！全力で取り組んでほしいです。

(第3学年保護者)

すごくいい運動会でした。3年間で1番素敵だったと思います。なにより一人一人が生き生きとしていて、クラスで団結すること、色で団結すること、そして学年を超えて犬中がひとつになっていると感じました。先生方が子供たちを信頼し、子供たちの自ら考える力を育ててくださっていると思いました。子供たちはきっかけさえ与えることができれば、想像もできないパワーを発揮してくれると思います。本当に3年生、良い学年だなあと感じました。

(第3学年保護者)

運動会お疲れ様でした。クラス、チームが一つになって競い合う姿に感動しました。勝ち負けもありますが、他に感じ取れる何かがあると思います。卒業まで協力して行う機会を沢山経験して下さい。見ていたこちらも色々なものを感じました。

校長室より

先生の良さを知る

学級担任が子供達を十分知ることが必要のように、管理職も先生方をよく見るのが大切である。積極的に学校の中を回り、授業の様子や子供達の表情や行動も見る。時には、生徒と一緒にになって、先生方の授業を受けてみたり、生徒のつぶやきなどを聞いては、その様子を先生方に伝えたりする。学校を回っていると生徒の様子や学校の状況もよく把握することができ、それと同時に先生方の様子も分かる。先生と生徒の関係も自ずと見えることもしばしばある。しかし、それは決してチェックや教員を評価するためだけではない。管理職である我々には先生方の良さを知ること大きな目的なのである。これは、先生方が生徒と触れ合っているときも同じであろう。先生方も生徒を評価しようとして見ているわけではない。共に喜び、共に悩み、共に成長する。我々管理職も先生方と一緒に悩み喜びを分かち合う。そんなことを積み重ね、触れ合っていくなかで、その人の良さが見えてくる。生徒と話し合うことを少し苦手とする先生が、知らないところで掲示物を整えている。授業の進め方に悩みながらも、いつも生徒から慕われている。時間に余裕がないながらも、いつも生徒の連絡帳に熱心にコメントを入れて励ましている。そんな先生方の良さをたくさん見つけながら、今日も学校を見て回ろう。

お知らせ

- ◆7月3日(月) 3年実力テスト
- ◆7月7～9日 県総合体育大会
- ◆7月10日(月) 専門委員会
- ◆7月20日(木) 1学期終業式
- ◆7月21日～8月31日 夏季休業
- ◆7月24日～8月4日(平日) 三者面談